

10x Chromiumを用いたシングルセルRNA-Seq支援 (リエゾンラボ研究推進施設)
担当：臼杵、安永

<<支援の流れ>>

臼杵<usu@kumamoto-u.ac.jp>へ相談
計画、打ち合わせ(臼杵、安永)
↓
10x試薬を物納
↓
実施当日：細胞の前処理を行い、臼杵まで持参する
Chromiumラン、ライブラリー調製
↓
ライブラリー調製完了後、依頼者に返却
↓
依頼者がシーケンス発注
↓
データ納品後、安永に受け渡し解析

<<ルール>>

1. 依頼者は下記の専用試薬2品をリエゾンラボに物納し、外注シーケンス費とChromium保守費を負担する

<10x Chromium専用試薬・消耗品> *試薬は4サンプル分もしくは16サンプル分で販売
Chromium NextGEM シングルセル 3' ライブラリー&ゲルビーズキット v3.1 (4サンプル)
Chromium NextGEM シングルセル G チップキット 16サンプル) *2ラン分

<外注シーケンス>
マクロジェン、ジーンウィズなどシーケンス受託業者に依頼者各自で外注する(HiSeq推奨)

<Chromium保守費>
年度末に依頼者からレトロ研へ支払う(2019年度は1ランにつき8万円)

2. 依頼者は、ライブラリー調製費(インデックス試薬、バイオアナライザー、qPCRなどの試薬やその他消耗品)と基本解析費(サーバ保守費・解析技術料)として、1サンプルあたり2万円を負担する

3. 2.の基本解析以外の解析費は追加費用が発生する(要相談)

4. 発生研内からの支援依頼が優先される。コラボレーショングループからの支援依頼の受け入れは、その時点でのリエゾンラボのキャパシティに応じて判断される

5. 本研究支援による研究成果を学会や論文等で発表する際には、当該研究に対するリエゾンラボの貢献度を考慮の上、謝辞もしくは共著者として記載する

6. 依頼者はリエゾンラボに細胞の前処理プロトコルを提供する。また、その情報が今後の研究支援に活用されることに同意する

7. 必要に応じて、発生研が公募するトランスオミクス医学研究拠点ネットワーク形成事業(研究助成)への応募を紹介する